

## 地域団体商標の取得及び活用

会社名 都城弓製造業協同組合

会社概要 都城大弓・伝統工芸品の製造・販売

## 1. 相談のきっかけ

伝統工芸品であり、国内の多くのシェアを占める大弓について、海外からの問い合わせも多く、ブランド化を構築するために、商標等の知的財産権の取得を検討したが、どのような種類のものが良いのか不明であった。

## 2. 課題整理・分析

商標には、種類があるが、地域産品については地域団体商標の活用が期待されるが、その取得については、審査が厳格であり、周知性が求められるなど、証拠資料の提出が難しい側面があった。

## 3. 解決策の提案

今までの地域団体商標の資料から、周知性の資料として、新聞・雑誌、海外や、国内の全域での取引事例、団体からの証明書等を取り付けることで、地域団体商標の取得が可能ではないかと提案した。

## 4. 成果

地域団体商標の取得の結果、新聞・テレビに取り上げられ、2社、写真入りで掲載された。特に、宮崎では食品・飲料以外の商品としては初であるということからも注目を集めた。そのことから、マスコミからの取材の申し込みがあり、県内のみならず、県外のマスコミからの取材も増えることになった。

## 5. 相談者の声（ 都城弓製造業協同組合 様）

よろず支援拠点に相談したことにより、通常の商標ではなく、地域団体商標について教えて頂きました。そして、地域団体商標は、通常の商標とは異なり、取得のハードルは高いですが、その効果としては、特許庁やその他の注目度が違うことも教えて頂きました。実際に、取得後は、取材なども増えており、新聞にも掲載されました。今後も、活用して、日本のみならず海外にも展開出来ればと考えております。